

【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～寒川神社とその周辺地域の自然と歴史を訪ねる～

日時：2024年1月24日（水） 28日（日） 10:10～14:00

場所：寒川町

参加者：一般 49名（24日 32名、28日 17名）スタッフ（実数） 11名

午前は宮山神社、寒川神社、興全寺、西善寺を見学しました。神奈川県水道記念館の水の広場で昼食後、神奈川の美林50選に選定されている寒川神社参道脇の森を沿って散策し、さむかわ中央公園、宮山緑地、寒川調圧水槽、大神塚、安楽寺を経て、JR寒川駅で解散としました。

JR宮山駅に集合し、だいぶ膨らんできた早咲きのサクラの冬芽やウメやボケの花などを観ながら目久尻川沿いに散策、宮山神社に向かいました。宮山神社は、古くから宮山地区に鎮座していた七社の小祠が合祀されています。境内では、クスノキ、サカキ、ナギ等の樹木を観ることができました。

およそ1,600年の歴史があり、全国唯一の八方除の守護神として古くから多くの方々の信仰を集めてきた寒川神社に向かいました。神社では、1855年に発生した安政地震で倒壊した一の鳥居の笠木や迎春ねぶたが飾られている神門、御神木の夫婦杉、古くから中国や日本で天体の位置や運行を観測するのに使用された渾天儀、また、オガタマノキ、ナギ、サカキ等の樹木を観ることができました。

家畜の霊を慰めるために建立された畜霊碑のある興全寺、シキミが境内に植えられている西善寺を経て、神奈川県水道記念館に向かい、昼食としました。

昼食後、水道記念館の屋内展示を見学、また、水の広場の樹木を観た後、神奈川の美林50選に選ばれている樹林沿いに参道を散策し、さむかわ中央公園、宮山緑地、寒川調圧水槽を経て、大神塚と安楽寺に向かいました。大神塚は帆立貝式の前方後円墳です。後円部に登り、古墳の全容を確認しました。さむかわ中央公園や大神塚からは、大山をはじめとした丹沢の山々、また、積雪で真っ白くなった富士山を眺めることが出来ました。

二日間とも、雨や雪に降られることなく、真冬の寒川での植物観察と史跡めぐりを楽しむことが出来ました。

（大橋記）



迎春ねぶたが飾られた寒川神社の神門



寒川神社拝殿



興全寺の畜霊碑



水道記念館



宮山緑地



大神塚



安楽寺